

4 個別事業の予算要求・査定結果の公表

以下の2つの方法で、予算編成過程を公表します。

(1) 区長査定項目等の予算要求・査定結果 (P10~29)

- 公表する事業は、区民の関心が高く、区長査定等で議論した施策（事業）から、40項目を選定しました。

《資料の見方》

各部から計画財政部に提出された、当初要求額を記載しています。
※追加で要求があった事業については、()で記載しています。

部局		予算要求の概要		要求と査定経過		
○ ○ 部	【要求事業・要求内容】	当初要求額 (追加要求)	○○	計画財政部長 査定後要求額	××	
	部からの当初要求の内容を記載しています。	区長査定 予算(案)	☆☆	査定区分	G	
	【事業概要】	前年度 当初予算額	△△	増減	◇◇	
	部からの要求事業の内容を記載しています。	増減	◇◇			
	【主な要求内容】	査定考え方	どのような考え方で予算(案)を決定したかを記載しています。			
	経費内訳等を記載しています。					
		*平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		** ページ		

計画財政部長査定後の部からの要求額を記載しています。

事業の内容等を検討し、予算の総合調整を行い、平成28年度予算(案)として計上した事業費を記載しています。

事業説明資料に該当するページを記載しています。
※プレス発表にない事業については、「—」表記としています。

※ 「予算要求の概要」欄は、部からの当初要求時の事業概要・要求内容を記載しています。予算の総合調整の中で事業の内容等を検討し、一部内容等を変更している事業もあります。確定した事業内容等については、「平成28年度予算(案)の概要」の該当ページをご参照ください。

(2) 一定額以上の予算要求・査定結果 (P30～43)

- 公表する事業は、一般会計で要求額が 10,000 千円以上かつ、未来プラン事業、新規、継続レベルアップ、4つの重点課題該当事業の 231 項目といたします。

《資料の見方》

各部から計画財政部に提出された、当初要求額を記載しています。
※追加で要求があった事業については、()で記載しています。

【□□費】 (単位:千円)

担当部	事業名	予算要求内容	当初 要求額 (追加要求)	計画財政部長 査定後要求額	区長査定 予算(案)	査定 区分	27年度 当初予算額	増減 (28予算(案)- 27当初)
○○部	○△×□事業	予算要求の内容を記載しています。	○○	××	☆☆	C	△△	◇◇

計画財政部長査定後の部からの要求額を記載しています。

事業の内容等を検討し、予算の総合調整を行い、平成28年度予算(案)として計上した事業費を記載しています。

※査定区分は、(1)・(2)共通して、以下の4つに類型しています。

査定区分

査定区分	理由
A	要求どおり (部からの当初要求額及び事業内容どおり認める)
B	積算内容精査(増額を含む) (事業内容は認めるが、過去の実績等を踏まえ、単価・数量・回数・箇所数などを精査したもの)
C	事業内容精査(増額を含む) (事業手法や実施時期等を検証・調整するなど事業内容を精査したもの)
D	要求を認めない(要求内容の一部を認めないものを含む) (事業の再精査等が必要なため、実施を先送りしたものなど)

(1) 区長査定項目等の予算要求・査定結果

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
区長政策室	【要求事業・要求内容】	当初要求額	20,919
	2020年東京オリンピック・パラリンピック推進事業		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	20,915
	区は、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、「スポーツ健康都市」「国際都市おおた」の取り組みを推進し、1964年東京大会同様、まちの都市機能及び魅力の向上を目指し、積極的に事業を推進していく。 また、多くの区民に大会の感動を伝え、レガシーを創出できるよう、ホッケー会場に引き続き、大田スタジアムへのソフトボール会場の誘致や外国の事前キャンプの誘致、区イベントへのアスリート派遣事業を実施する。	区長査定 予算(案)	20,915
	【主な要求内容】	査定区分	B
	1 区内で開催されるホッケー競技等の普及・啓発 2,420千円 2 区内イベントへのトップアスリート派遣 等 13,711千円 3 ソフトボール競技会場の誘致等 4,222千円 4 国外の競技団体の事前キャンプ等の誘致 562千円	前年度 当初予算額	17,951
		増減	2,964
	査定の考え方	大田区が競技会場となったホッケー競技を効果的に気運醸成に活かしている。また、アスリート派遣はスポーツをとおした、心のレガシーの創出に資するものである。誘致活動はリオ大会閉幕後本格化することからの確な要求である。なお、計画財政部長査定では事務経費を精査した。	
* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ			100 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
区長政策室	【要求事業・要求内容】	当初要求額 (追加要求)	(6,480)
	政策的広聴に関する調査 (当初要求「コールセンター運営事業」の代替要求事項)		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	6,480
	透明性の高い区役所を実現するためには、多くの区民が区政に高い関心を持ち、知りたいと思う区政情報がいつでも手軽に入手できる環境を整備するとともに、区民の多様な意見を区政に活かす仕組みを整え活用していくことが求められる。また、広聴においては若年層の意見が十分に寄せられないため、SNS等を活用したサイレント・マジョリティの声の分析することが必要である。	区長査定 予算(案)	6,480
	【主な要求内容】	査定区分	A
	区民の声を業務改善や新たな政策立案の参考に活用するために、最適で効率的な政策的広聴のあり方を検討する。 1 電話交換業務の現状調査 2 コールセンター導入に関する環境調査 3 SNS等のデータベースを活用した分析に関する支援 など 要求額 調査委託費用 6,480千円	前年度 当初予算額	0
		増減	6,480
	査定の考え方	主に電話での案内業務の向上を目指すもので、利便性の向上とともに問い合わせ内容の分析やSNSを活用し経営戦略に活かすことも可能である。電話交換や既存の個別事業のコールセンターとの統合、並列、分散など、電話による総合窓口のあり方を整理するために必要な経費である。	
* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ			102 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
計画 財政部	【要求事業・要求内容】		
	大田区公共施設整備計画の推進	当初要求額	20,521
	【事業概要】		
	現在区が保有する約570の公共施設のうち、60%以上が整備後30年以上経過するなど、老朽化が進んでおり、施設の更新が重要な課題となっている。このような状況のもと、将来の人口動向や行政需要を見据え、平成27年度中に作成する「(仮)大田区公共施設適正配置方針」を踏まえたモデル事業等の検討を行う。また、国が全国の自治体に対して策定を要請している「公共施設等総合管理計画」を策定する。これらにより、効果的、効率的な施設マネジメントによる区民サービスの維持・向上の実現を目指す。	計画財政部長 査定後要求額	12,691
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	12,691
	1 適正配置方針に基づく個別事業の検討 6,470千円 2 公共施設構造躯体健全性調査 6,221千円 3 大田区公共施設総合管理計画の策定委託 7,560千円	査定区分	B
		前年度 当初予算額	10,419
	増減	2,272	
査定の考え方	公共施設の適正配置方針の具現化や既存施設のリファインのために必要な経費である。国から策定要請のある公共施設総合管理計画については既往調査を可能な限り活用することで、経費の圧縮が可能であるため精査した。		

*平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

22 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
総務部	【要求事業・要求内容】		
	大田区制70周年記念事業	当初要求額	74,780
	【事業概要】		
	平成29年3月15日に大田区は区制70周年を迎える。この記念日を区民とともに祝い、区民と区政の連携により新しい時代に向けた変革に取り組む門出として位置づける。区民が一体となり、区を挙げて祝うための機運醸成を図り、区内外に“国際都市おおた”の魅力をより効果的に発信していくための様々な事業を展開する。	計画財政部長 査定後要求額	67,877
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	40,006
	1 イメージソングの展開(楽曲配信、英語バージョン制作) 4,860千円 2 イベント・式典(発表イベント、フェスティバル、式典) 26,119千円 3 シンボルマーク、PRキャラクター 720千円 4 にぎわい創出(基金構想構築、イルミネーション点灯等) 17,322千円 5 イメージ戦略(グッズ製作、専用ホームページ開設等) 16,690千円	査定区分	C
		前年度 当初予算額	0
	増減	40,006	
査定の考え方	区民が参加しやすい企画に努め、27年度に制作や公募をしたイメージソング、PRキャラクター、シンボルマークを最大限に活用し、必要以上の演出(英語バージョンの制作、基金構想の構築、イルミネーション点灯、専用ホームページの開設等)を精査した。 また、執行段階でも既存事業との連携により経費の圧縮(区のホームページや、既存イベントの活用)をすること条件に要求を認めた。		

*平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

103 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
地域力推進部	【要求事業・要求内容】 区設掲示板の建て替え (カバー及びソーラーパネル式LEDライト付)	当初要求額	109,469
	【事業概要】 2020年までの4年間で、区設掲示板全896基をカバー及びソーラーパネル式LEDライト付の掲示板に建て替える(各年224基)。 建て替えに伴い、設置位置の再調査・検討を行い、設置バランスなどを見直す。また、ソーラーパネルの機能を活かし、防災防犯のまちづくりを推進するために、配置場所の日照にも配慮する。 老朽化した掲示板を建て替えることで、修理・補修経費の削減をはかる。	計画財政部長 査定後要求額	105,194
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	105,194
	1 移設・撤去 1,008千円 2 修理・補修等 4,435千円 3 掲示板の建て替え 104,026千円	査定区分	B
		前年度 当初予算額	5,541
		増減	99,653
	査定の考え方	区内に896基ある区設掲示板は、区報やホームページとともに重要な情報発信ツールである。カバーやライトを装備することで、掲示物が飛散することなく、見やすさ・分かりやすさに配慮した掲示板とすることができる。また、停電時も発光しているため、防犯・防災面での利用など、掲示板としての機能に付加価値を生み出している。 設置年度の古いもの、老朽化の著しいものを優先的に建て替えることとし、その分見込んでいた修理・補修費用について精査した。	

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

67 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
地域力推進部	【要求事業・要求内容】 防災力強化事業	当初要求額	601,650
	【事業概要】 大田区総合防災力強化検討委員会の提言や都の新たな被害想定に基づき、これまで「区民の命を守る」ための対策を重点的に実施してきた。平成28年度からは防災力強化の中期対応期とし、これまでの「区民の命を守る」ための対策に係る事業を推進しつつ、「最低限の生活を守る」ための重要対策への取り組みを進め、防災対策を展開する。	計画財政部長 査定後要求額	610,322
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	703,484
	1 備蓄物品の充実と拡大 210,142千円 毛布及び非常食糧、要配慮者用物品の購入、災害用トイレの入替等 2 事業所に向けた防災対策の啓発 290千円 事業者向け防災啓発データ(パンフレット)の作成 3 災害復興体制の構築 9,296千円 4 地域防災施設の整備 375,025千円 など	査定区分	B
		前年度 当初予算額	91,467
		増減	612,017
	査定の考え方	備蓄計画の前倒しにより避難者想定数237,000人分の食糧、生活用品等の購入を進めるなど、多様な避難者に対応できる避難所機能の拡充を図りつつ、区民・事業者に向けた防災意識・対策の啓発も継続することで自助・共助の取り組みを推進するものである。 地域防災施設整備にかかる工事費について見積もりを精査し、当初要求額より増額となった。	

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

68 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
地域力推進部	【要求事業・要求内容】		
	防犯力強化事業	当初要求額	84,969
	【事業概要】	計画財政部長査定後要求額	84,969
	子どもを犯罪から守るために、通学路を含めた公共の場所の安全を確保するための対策を強化する。また、犯罪抑止のために、自治会や商店街を主体とする防犯カメラの設置への支援を拡大し、区民の見守り活動に対する支援や高齢者への犯罪被害防止啓発を継続して行う。	区長査定予算(案)	83,279
	【主な要求内容】	査定区分	B
	1 街頭防犯カメラの設置支援 78,737千円 「安全・安心まちづくり推進地区」内の14団体が設置する防犯カメラ190台について、その費用を助成する。	前年度当初予算額	26,953
	2 通学路における青色回転灯パトロールの強化 6,232千円 現在実施している委託の青色回転灯車による通学路パトロールに加え、非常勤職員がパトロールを実施するために青色回転灯車をリースする。	増減	56,326
査定の考え方	青色回転灯車両を確保することで、緊急対応・重点パトロール等に柔軟な対応が可能となる。全体のパトロール回数が増え、また防犯カメラの設置台数も増えることにより、犯罪抑止効果だけでなく区民の体感治安の向上も期待でき、「安全・安心なまちづくり」につながる。現在実施している委託によるパトロール回数を減らし経費を圧縮し、それに代えて非常勤職員によるパトロール体制の充実を図り、より低コストな方法で全体のパトロール回数を増やした。		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

72 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
観光・国際都市部	【要求事業・要求内容】		
	訪日外国人誘致のための情報発信事業	当初要求額	5,924
	【事業概要】	計画財政部長査定後要求額	4,320
	平成26年度実施の観光マーケティング調査の結果より、大田区内の周遊や滞在時間が非常に少ないことが分かり、大田区の認知度を向上させる必要がある。SNSでの情報発信は関心度が高いため拡散効果が見込めることから、区内の観光資源の更なるPRを行う必要がある。また、外国人目線で分かりやすいPR動画を作成することで、より大田区への来訪意欲を醸成する。	区長査定予算(案)	4,320
	【主な要求内容】	査定区分	B
	大田区の魅力を映像で国内外に発信する大田区観光PR動画を制作する。また、訪日外国人の大田区に対する認知度を向上するために、SNSやブログを活用し、大田区の魅力を情報発信していく。	前年度当初予算額	0
	1 大田区観光PR動画制作費 4,303,800円 2 プロモーション費 1,620,000円	増減	4,320
査定の考え方	訪日外国人の大田区に対する認知度を向上させるためには、SNS等を活用し情報発信することが最も低コストで効率的・効果的である。平成27年度にFacebook「Visit Ota City」を開設しており、継続的にアップすることで認知度向上につながることを期待できる。計画財政部長査定にて、プロモーション費(Facebookページ「Visit Ota City」)を増額したが、PR動画制作費を減額とし、トータルで事業費を圧縮した。		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

108 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
観光・国際都市部	【要求事業・要求内容】		
	民間連携による観光サポーター事業	当初要求額	3,780
	【事業概要】		
	平成26年度に情報発信強化を目的に、区の魅力発信に興味がある方を「大田区観光サポーター」として任命。また、株式会社ぐるなびと連携し、地域活性化サイト「ぐるたび」における情報発信事業を開始した。WEBでの情報発信が中心だが、観光サポーターのITスキルや意識の差が激しく、育成していくこと自体に無理が生じており、観光情報の発信強化を第1の目的とし、一定以上のITスキル保持者を募集すべきである。	計画財政部長 査定後要求額	3,780
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	1,944
	第2期の観光サポーターを募集にあたって、一定以上のITスキル保持者に絞り込み、情報発信力を高める。 また、「ぐるたび」サイトを拡充するために、観光サポーターのロコミ投稿のみに頼るのではなく、プロライターに記事制作を委託する。	査定区分	B
	1 観光サポーター募集・育成 2 観光サポーター事業PR	前年度 当初予算額	2,700
	増減	△ 756	
査定の考え方	平成26年度から事業を開始しているが、実績・効果が見られないため「ぐるたび」については廃止する(観光サポーターによる「ぐるたび」投稿数が少なく、閲覧数も少ないため)。観光サポーターの任期が引き続き28年度もあることから、その必要経費のみ予算を認める。 今後は平成27年度に開設したFacebook「Visit Ota City」や「大田区公式観光サイト」から情報発信していくことで、ユーザー数を増やす効果が期待できる。		
*平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		-	ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
区民部	【要求事業・要求内容】		
	データヘルス計画に基づく保健事業	当初要求額	33,715
	【事業概要】		
	国民健康保険の医療費適正化のため、平成27年度に策定した「データヘルス計画(レセプトや健診情報等の分析に基づく保健事業計画)」による被保険者に対する保健事業を実施する。	計画財政部長 査定後要求額	33,715
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	33,153
	1 糖尿病性腎症重症化予防事業(新規) 2 特定健診未受診者電話勧奨及びアンケート実施(拡大) 3 ジェネリック医薬品差額通知事業(拡大) 4 健診異常値放置者受診勧奨事業(新規) 5 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業(新規) 6 早期介入保健事業(新規)	査定区分	C
		前年度 当初予算額	15,596
	増減	17,557	
査定の考え方	糖尿病性腎症重症化予防事業などに取り組むことで、患者の身体的・経済的負担を軽減するとともに、毎年増えている人工透析の医療費の抑制が期待できる。一人当たりの医療費が23区最高位となっている大田区国民健康保険の医療費適正化につながる。 電話勧奨は平成23年度に実施後、受診率は向上しており、一定程度効果が見込める。 ジェネリック医薬品差額通知事業については、回数が増ではなく、より効果が見込める対象者の拡大に変更するなど、事業実施方法を見直した。		
*平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		25	ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
産業経済部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	10,721
	羽田空港跡地における成長戦略拠点の形成（産業経済部分）		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	14,221
	羽田空港跡地の産業交流拠点を形成するためには、国や東京都などの関係機関と連携・協力し、「特区制度」や「大田区企業立地促進基本計画」などを活かしながら、諸課題の解決を図る必要がある。 平成27年7月に策定した空港跡地第1ゾーン整備方針の実現に向け、官民連携事業による事業費軽減を図るため、27年度から28年度にかけてPPP/PFI事業のアドバイザー業務委託を行う。また、その中において整備方針で示した重点プロジェクトの具体化を検討する。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	17,921
	「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」や「羽田空港跡地まちづくり推進計画」を踏まえ、国家戦略特別区域制度を活用しながら、平成32年のまちづくりの概成を目指す。 1 空港跡地アドバイザー業務委託（平成27～28年度債務負担） ・PPP/PFI事業アドバイザー業務委託 ・跡地整備方針で示した重点プロジェクトの検討など	査定区分	C
		前年度 当初予算額	9,094
増減		8,827	
査定の考え方	跡地整備方針で示された7つの重点プロジェクトは、検討から実施の段階に早急に移行すべきである。「協創プロジェクト推進企業育成事業」はその一つであり、大田区で求められている開発提案型企業の育成につながる。そのため、育成プログラム作成経費を計画財政部長査定時に追加した。その後、（一財）空港環境整備協会の「空港周辺地域活性化事業補助金」に内定し、当事業の有効性が認められたことから、前倒しでプログラムを実施するため、実施経費を区長査定時に追加した。		
* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		144 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
産業経済部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	4,005
	商店（飲食店）表彰制度		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	3,737
	「優工場」を模して始まった表彰制度の為、SNSの利用等(インバウンドマーケティング)を考慮していない時代にできたものであり、「大田区の飲食店を世界に発信」するにあたりPRツールが時代に即していない。 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えて、多言語化したWebや印刷物を作成するなど、PRツールを工夫する必要がある。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	3,737
	大田区内の特色ある優良な飲食店を表彰しPRする制度である前身の「OTA!いちおしグルメ」を継承しつつ、総合部門、こだわり部門の2部門を設けることで対象店舗を拡大し、繁盛店となり得る飲食店を掘り起こす。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えて、多言語化したWebや印刷物を作成するなど、国内外からの誘客を図り商業圏の活性化と産業・観光振興を促進する。 1 表彰事業の実施 2 表彰店舗のPRを拡大	査定区分	B
		前年度 当初予算額	3,256
増減		481	
査定の考え方	平成27年度に総合版を発行し反響があった「いちおしグルメ」は、過去のアンケート調査から、一定程度の集客効果等があったため、継続する。今後は、紙媒体ではカバーしきれない、区外に向けたWebサイトやスマートフォンなどITの活用を拡大し、一方、紙媒体については数量や内容を見直し、一部経費を精査した。 効果的にPR・周知を行い、表彰店舗の集客・誘客効果をさらに引き出し、区内商業の活性化を図ること。		
* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		132 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
産業経済部	【要求事業・要求内容】	当初要求額 (追加要求)	(4,326)
	大田のお土産50選表彰事業		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	4,326
	「これぞ大田のお土産！」と銘打つ商品・製品を表彰・PRする事業を新たにスタートします。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、観光客を中心とした来訪者の皆様が喜ぶ、大田区ならではのお土産を今後数年間で50点選定し、区内外に広くアピールします。	区長査定 予算(案)	4,326
	【主な要求内容】	査定区分	A
	平成28年度は、食品分野、ものづくり分野(雑貨を含む)の二つの分野で表彰製品・商品を選定し、4年間で概ね50品を選定し、最終年度には東京オリンピック・パラリンピックに合わせて総合版ガイド等を発行し、PRを行う。 1 印刷製本費等 1,498千円 2 Webページ制作等 1,416千円 3 調査・審査会謝礼等 1,412千円	前年度 当初予算額	0
		増減	4,326
査定の考え方	来訪者の増加と購買により、地域経済の活性化と賑わいの創出につなげることができる。よりインパクトをもたせ、効果的に区内外へPRするため、50選から100選とする。 なお、事業を実施する際には、以下の点に留意して行うこと。 ・観光情報センターでのPR・販売など観光施策と連携すること。 ・Webを活用し効果的に区内外(海外も含め)に幅広く発信・PRすること。 ・1年ごとに事業の進捗状況の確認と効果検証を行い、今後の事業実施方法を検討すること。		

*平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

113 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
産業経済部	【要求事業・要求内容】	当初要求額 (追加要求)	(48,738)
	特区民泊等宿泊施設連携事業(商店街・公衆浴場等)		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	48,738
	全国に先駆けてスタートする特区民泊に合わせて、区内商店街、銭湯(公衆浴場)、産業団体等が実施する、特区民泊利用者等を対象とした事業やホームページの多言語化を支援し、来訪者の地域回遊を促進し区内産業の活性化を図ります。特区民泊を契機とし、区内各種産業団体の訪日外国人に関する課題・要望を把握するとともに、事業アイデアも募集し、効果の見込まれる取り組みについて経費の一部を補助し区内産業の活性化を図ります。	区長査定 予算(案)	48,738
	【主な要求内容】	査定区分	A
	1 商店街・公衆浴場特区民泊等宿泊施設連携事業 41,805千円 2 産業団体等文化交流支援事業 5,053千円 3 各種産業・特区民泊連携事業 1,880千円	前年度 当初予算額	0
		増減	48,738
査定の考え方	全国に先駆けて実施する特区民泊事業の効果を、区内経済や地域活性化につなげることは重要である。 公衆浴場は、今回の取り組みを契機として旅行者の受入体制を整えていくことで、今後の観光資源としての活路を見出していくことができる。		

*平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

127 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
福祉部	【要求事業・要求内容】		
	一般介護予防事業	当初要求額	26,314
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	24,834
	新総合事業では、可能な限り自立した生活を送るため通いの場の充実、住民主体の活動が推奨されているが、定期的に活動できる場所が不足しており、事業の実施が困難である。 老人いこいの家を介護予防事業の拠点にすることで、体操教室が身近な場所で毎週開催可能となり、腰痛・腹痛改善や転倒予防、認知症予防等、必要性の高い内容に絞って実施することにより、高い効果を期待できる。	区長査定 予算(案)	23,981
	【主な要求内容】	査定区分	C
	1 いきいきシニア30分体操、毎週体操 6,109千円 2 いきいき公園体操の拡充 2,263千円 3 ライブでストレッチ 1,247千円 4 生活支援サービス養成講座 1,185千円 5 いきいきシニアサロン 9,967千円 など	前年度 当初予算額	6,693
		増減	17,288
	査定の考え方	身近な場所で参加できる介護予防事業を展開することで、参加者数の増加が期待できる。老人いこいの家を利用したことのない人も参加できるようPRに努め、参加者数等検証を行い、効果的な実施場所を検討すること。「ライブでストレッチ」については全老人いこいの家等で実施の要求であったが、モデル事業として実施施設数を精査、1年間効果検証を行ったうえで今後の導入について検討することとした。	

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

34 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
福祉部	【要求事業・要求内容】		
	(仮称) 大田区子どもの貧困対策計画の策定	当初要求額 (追加要求)	(19,868)
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	18,572
	国の調査では、子どもの貧困率は16.3% (2012年) となり、先進国の中でも厳しい状況となっている。家庭の経済状況に関わらず、大田区の未来をつくる全ての子ども・青少年の健やかな成長を支え、将来の可能性をより高めるため、子ども・青少年施策や一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな施策を一層充実させていくことが必要との観点から、子どもの貧困対策計画を策定する。	区長査定 予算(案)	18,572
	【主な要求内容】	査定区分	B
	学識経験者、民生児童委員、保護司、関係機関職員等を構成員とする検討委員会を立ち上げ、実態調査等により課題を洗い出しながら計画内容を検討していく。なお、計画の策定は平成29年3月を予定。	前年度 当初予算額	0
		増減	18,572
	査定の考え方	子どもの貧困対策は、区として重点的に取り組むべき課題である。実態調査を踏まえた計画を策定することで、関連施策を組織横断的に、より効果的に実施することができる。 計画策定支援業務委託について内容の精査を行った。	

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

26 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
福祉部	【要求事業・要求内容】	当初要求額 (追加要求)	(12,212)
	大田区元気シニア・プロジェクト事業の開始について		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	12,212
	超高齢化の中、後期高齢期におけるフレイル状態（虚弱/リスク）の先送りが喫緊の課題となっている。東京都健康長寿医療センター研究所と共同事業として科学的根拠に基づいたフレイル予防で体力・栄養・社会参加の三要素に重点的にアプローチすることで、高齢者が虚弱状態に早く気づき、自ら対応するセルフケア力を身に付けることを目的とした、各種事業を2地区で実施する。	区長査定 予算(案)	12,212
	【主な要求内容】	査定区分	A
	大都市の地域特性を踏まえ、高齢者が自身の状態に気づき、対処する力を身に付けることを目的とした事業を実施する。 1 地域診断の実施 2 コミュニティ会議開催・打ち合わせ（2地区80回開催） 3 シニア健康教室の実施 4 健康手帳の内容改定及びサポーター研修（年10回）	前年度 当初予算額	0
		増減	12,212
査定の考え方	東京都健康長寿医療センター研究所と共同研究を行うことで、全国に先駆けた大都市モデルを構築できる。また、効果的・効率的な効果検証が可能となる。介護認定に至らない、健康長寿な高齢者の増加をめざすことで介護給付費の抑制を期待できる。		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

33 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
福祉部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	756
	オーダーメイド型福祉用具製作事業の構築		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	756
	障がい者の福祉用具へのニーズと区内ものづくり企業の技術力とをマッチングさせ、オーダーメイド型福祉用具を製作する。マッチングの中心には、障害者支援の拠点機能を有する障がい者総合サポートセンターの機能を活用する。製作・製品の開発にあたっては、産業経済部での企業支援の取り組みと共同して実施する他、技術支援において東京工科大学と協働体制を確立し、区内の福祉・産業・研究分野と連携した「大田区ならではの」の取り組みを展開する。	区長査定 予算(案)	756
	【主な要求内容】	査定区分	A
	1 オーダーメイド型福祉用具製作事業 675千円 オーダーメイドで製作された福祉用具を障害者等が購入する際、購入金額の一部を区が助成する。 2 東京工科大学との連携 81千円	前年度 当初予算額	0
		増減	756
査定の考え方	区内ものづくり企業の優れた技術を活かし、障がい者の生活支援を行うことで福祉の向上を図るとともに、区内ものづくり企業の新分野進出・PR効果も期待できる。産業経済部と連携し、区内ものづくり企業が参入しやすい仕組みを構築すること。		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

41 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
福祉部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	1,256
	(仮称) 元気高齢者就労サポート事業		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	1,256
	おおむね55歳以上を対象とした無料職業紹介所である「大田区 いきいきしごと ステーション」が、新たに保育施設または介護施設への就労を希望する高齢者に対し、専門的な講座(講義及び実習)を実施し、実践的な技術・能力取得の機会を提供する。 講座実施後に行う就職面接会を通して、就労へ向けた総合的な支援を行います。	区長査定 予算(案)	1,256
	【主な要求内容】	査定区分	A
	1 実施事業所への事業費補助(講師への報酬、需用費等)	前年度 当初予算額	0
		増減	1,256
査定の考え方	専門的な講座を実施することで高齢者の新たな就労機会を生み、健康で自立した生活を営むことに貢献できる。また、保育及び介護に従事する人材育成も期待でき、技術習得済の就職希望者と保育・介護事業者のマッチングを図ることで事業者の負担軽減にもつながる。		
* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		28 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
健康政策部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	7,000
	24時間自動体外式除細動器(AED)設置補助事業		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	6,990
	民間団体等がAEDを購入して自らの施設に設置する場合、24時間365日だれでも使える場所に設置すること等を条件のうえ、その設置費用(初期費用)の2分の1を補助することで、設置を促し、地域の救命体制の充実、安全・安心の向上を図る。 なお、既存のAEDレンタル費用助成事業は規模縮小し、当事業にシフトする。	区長査定 予算(案)	6,990
	【主な要求内容】	査定区分	C
	1 補助項目 AED一式、屋外型AED収納ボックス購入費用 2 補助率 1/2	前年度 当初予算額	0
		増減	6,990
査定の考え方	24時間365日どこでもAEDが使用できる環境整備への取り組みは、安全・安心な地域救命体制の強化に繋がる。 今後は、達成目標(5年間等の時限性)とエリアバランスのとれた設置計画(あり方)、コンビニエンスストア等の民間企業と連携した設置手法の検討、配備状況の効果的な対外的周知方法等を研究し、事業推進すること。 設置促進効果を高めるため、補助率を当初要求の1/2から2/3に引き上げ、設置件数について、需要予測の見直しによる精査を行った。		
* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		75 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
健康政策部	【要求事業・要求内容】	当初要求額 (追加要求)	(10,000)
	大田区三医師会が実施する認知症検診にかかる費用助成		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	10,000
	認知症の早期発見のため、大田区三医師会によるモデル事業として、大田区在住65歳～84歳の検診を希望する方に対し、MMS E法によるスクリーニング検査（受診者の自己負担なし）を実施する。この検査には、手間と時間、習熟が必要であり、実施医療機関に負担がかかることから、実施医療機関に対し、1件あたり1,000円を助成する。	区長査定 予算(案)	3,000
	【主な要求内容】	査定区分	C
	1 補助内容 1,000円（単価）×10,000件（件数） 2 補助先 大田区三医師会	前年度 当初予算額	0
		増減	3,000
査定の考え方	<p>現行の認知症早期発見の取り組みで不足している医療面からのアプローチについて、この検診の実施により一定の効果が期待できる。</p> <p>関係部局と連携し、モデル事業として、効果を検証したうえで、今後の事業展開を判断すること。</p> <p>検査が可能な専門医療機関数を鑑み実施件数を精査した。合わせて、検査実施方法の変更等により、事業内容を精査した。</p>		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

47 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
子ども家庭部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	1,609
	中高生の居場所の充実		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	1,037
	核家族化やインターネットなどの情報化の進展に伴い人間関係の希薄化が進む中、多感な成長期にある中高生にとって、様々な体験を通じた豊かな人間性の醸成が必要である。	区長査定 予算(案)	1,037
	上池台児童館や子ども交流センターなどの大規模児童館を活用した中高生の居場所を整備することで、次代を担う中高生の活動、交流、相談支援を通じた健全育成を図る。	査定区分	B
	【主な要求内容】	前年度 当初予算額	0
	1 上池台児童館 ダンススペースの整備、中高生事業費の充実 1,039千円 2 子ども交流センター 談話室の整備 570千円	増減	1,037
査定の考え方	<p>中高生のダンススペース整備のための音響機器等の配備は認めるが、備品の内容や数量について精査した。</p> <p>28年度に中高生の居場所づくりのモデル事業の効果を検証したうえで、羽田地区複合施設に整備する内容等を検討すること。また、全区展開については、公共施設の適正配置方針策定の中で検討すること。</p>		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

48 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
こども家庭部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	36,055
	保育人材確保支援業務		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	28,192
	保育ニーズが増加する中で、保育人材の確保が喫緊の課題となっている。区内保育施設が必要とする保育人材を安定的に確保できるよう、保育人材の採用・定着・育成について、総合的な支援の充実を図る。 既存事業を拡大するとともに、新たに保育力強化・就労継続(定着)のための支援に取り組み、人材確保・定着に努める。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	28,192
	1 保育人材情報ポータルサイトの設置【新規】 14,191千円	査定区分	B
	2 人材確保アドバイザー派遣、採用力強化支援研修【新規】 1,944千円		
3 採用力強化支援研修【新規】 800千円			
4 私立保育園就職フェア【既存・拡大】 4,124千円			
5 保育実践力強化研修【新規】 14,996千円			
	前年度 当初予算額	2,285	
	増減	25,907	
査定の考え方	区内保育施設の保育士確保が、喫緊の課題となっているため要求を認める。研修対象施設や対象者が限定されることから、広告宣伝費について精査した。より効果的・効率的に費用対効果を上げるには、民間団体等による運営への移行が今後の課題である。		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

54 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
こども家庭部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	22,348
	AED設置補助事業		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	22,348
	民間保育施設(認可保育所、認証保育所、小規模保育所、定期利用保育事業等)において、利用児童の増加に伴い、心臓に重い疾患を抱える児童など様々な事情を抱えた児童が利用している。保育施設での日常生活においては、遊びの中で転倒や衝突などにより、胸部に衝撃を受けた児童が、心室細動等を引き起こす危険を抱えており、AEDの設置は喫緊の課題である。そのため、AED設置のために要する経費補助を計上する。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	0
	施設利用者の健康・安全管理の充実を図るため、AED設置のために要する経費補助を計上する。	査定区分	D
	1 対象施設数		
認可保育所(61施設)、認証保育所(50施設)、小規模保育所(17施設)、定期利用保育事業(5施設) ※ ()内は平成28年4月1日現在 @302,000×74園=22,348,000円			
	前年度 当初予算額	0	
	増減	0	
査定の考え方	健康政策部のAED補助制度と重複するため、要求を認めない。 AED設置については、健康政策部による大田区としての統一的な方針により、補助を実施することが適切である。 現在すでに設置している民間保育園、他の民間福祉施設(高齢者・障がい者)、私立幼稚園との均衡から、新たに民間保育園だけ個別に補助する仕組みは、公平性を欠くため本要求は認めない。		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

- ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
まちづくり推進部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	398,528
	大森駅周辺地区の整備（共同建替支援、まちづくり用地購入）		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	392,280
	区を中心拠点として、グランドデザインに基づくまちづくりに取り組んでいる大森駅周辺地区について、都市計画道路補助28号線（池上通り）の拡幅整備及び沿道のまちづくりを進めます。 また、臨海部との交通結節点としての役割を担う平和島駅周辺について、歩行者の滞留による車道へのみ出しや、客待ちタクシーによる道路占有等の課題解決に向け、検討を進めます。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	392,280
	老朽建物の更新を円滑に進め、安全・安心な歩行者空間を創出するため、沿道建物の共同建替えについてコーディネートを行う。合わせて、拡幅整備区域内で地権者の方々の意向に沿ったまちづくりを推進するため、大森駅西側駅周辺においてまちづくり用地を購入する。 1 沿道建物の共同建替支援 2 まちづくり用地の購入	査定区分	C
		前年度 当初予算額	0
増減		392,280	
査定の考え方	補助第28号線の拡幅にあたっては、協議会等の地域の理解を得ることが重要であるとともに、共同建替や移転用地の確保などの支援が必要である。共同建替支援は包括的な支援から、案件毎の支援を受け実績に応じた支援となるよう精査した。		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ 147 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
まちづくり推進部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	28,896
	「(仮称) おおた都市づくりビジョン」策定		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	26,196
	区の内外を取り巻く情勢は大きく変化しており、地域の各主体がまちの将来像を共有し、地域とともにまちづくりを推進していくためには、都市の将来像をわかりやすく可視化することが不可欠である。 都市計画マスタープランを踏まえ、まちづくりに影響を与える社会情勢の変化等を加味した上で都市計画マスタープランを具体化、展開した「(仮称) おおた都市づくりビジョン」を策定する。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	26,196
	まちづくりに影響を与える社会情勢の変化等を加味した上で、都市計画マスタープランを具体化、展開した「(仮称) おおた都市づくりビジョン」を平成28年度に策定する。 1 (仮称) おおた都市づくりビジョン策定業務	査定区分	B
		前年度 当初予算額	0
増減		26,196	
査定の考え方	基本構想の下、最上位計画である未来プラン、都市マスタープラン、個別計画を統合した将来像のビジュアル化は、まちづくりの方向性を共有するための重要なツールとなる。また、学識経験者の監修の元、精緻な統合が必要と判断をした。当初要求後、積算の妥当性について精査をした。		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ 50 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
まちづくり推進部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	16,000
	がけ等整備事業		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	16,000
	年々激甚化する台風や集中豪雨などにより、毎年のようにがけ崩壊事故が発生している。区では70か所の急傾斜地崩壊危険箇所（高さ5m以上かつ傾斜30度以上の大規模ながけ地）が指定されているが、整備はほとんど進んでいない。5mを超えるがけ等の整備を行うには多額の費用が必要になり、現行制度の整備工事費の3割かつ300万円の助成上限額では十分とは言えないため、現行の助成制度を見直し、危険ながけ等の整備促進を図る必要がある。	区長査定 予算(案)	12,000
	【主な要求内容】	査定区分	D
	従来の一律3割、300万円までの助成上限額を、がけ等の高さに応じて上限額を設定し、実質助成割合を3割に近づけることで所有者の負担を軽減する。	前年度 当初予算額	12,000
	・高さ2m以上3m未満 上限額200万円（現行-100万円） ・高さ3m以上4m未満 上限額300万円（現行と同じ） ・高さ4m以上5m未満 上限額400万円（現行+100万円）	増減	0
査定の考え方	要求事項の一部である助成上限額の引き上げについては認めない。助成上限の引き上げだけで、民有地内の安全が確認できないような大規模ながけ等の整備を進めることは困難であり、敷地管理者に整備を促す仕組みや動機づくりの工夫が必要である。資産形成につながる補助金の上限額は慎重に取り扱う必要がある。		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ - ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
空港まちづくり本部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	51,579
	羽田空港跡地における成長戦略拠点の形成（空港まちづくり本部分）		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	50,548
	羽田空港跡地は、拠点形成に向け、効率的・効果的に進めるため、官と民の適切な役割分担や関係機関との連携方策が重要である。「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」や「羽田空港跡地まちづくり推進計画」を踏まえ、国家戦略特別区域制度を活用しながら、平成32年のまちづくりの概成を目指す。	区長査定 予算(案)	52,033
	【主な要求内容】	査定区分	C
	1 空港跡地の成長戦略拠点形成アドバイザー業務委託 21,972千円 2 基盤施設の整備検討 12,561千円 3 クールジャパンネットワークの組成業務 10,418千円 4 羽田の歴史コーナーに係る調査業務 3,186千円 など	前年度 当初予算額	80,768
		増減	△ 28,735
査定の考え方	国家戦略特区の枠組みを活かし国や東京都、他自治体などと連携を図るとともに、スキームの検討を尽くすことで、区のリスク負担軽減につながる要求である。28年度は拠点形成の事業者公募を予定しており、注力する観点から、精査をした。また、羽田の歴史コーナーの設置に必要な調査等に本格的に取り組む時期であることから、公募による情報収集を条件に増額をした。		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ 144 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
都市 基盤 整備 部	【要求事業・要求内容】		
	公園整備・経営方針策定	当初要求額	16,967
	【事業概要】		
	公園の整備や活用などに対する区民ニーズは、「量」よりもさらなる魅力がアップした「質」の高い公園を求めている。特に、小規模な公園緑地は、「地域の庭・広場」として地域活動に密着した空間とする必要があるが、方針が策定されていない状況である。	計画財政部長 査定後要求額	11,940
	区民の身近な公園を「地域の庭・広場」として活用し、地域力によって「守り、育て、活かす仕組み」を広げることで、地域特色の豊かな、区民に愛される公園づくりを進めるため、公園の整備・維持管理・利活用等の整備・経営方針を策定する。	区長査定 予算(案)	11,940
	【主な要求内容】	査定区分	C
	1 公園整備・経営方針策定委託 実態調査や利用者アンケート、配置計画等の調査検討を行い、公園の整備・維持管理・利活用等の整備・経営方針を策定。	前年度 当初予算額	0
	増減	11,940	
査定の考え方	<p>保育施設の代替遊技場の利用など公園の位置付けが変化していることから、公園のあり方を考える必要性は高く、検討にあたって必要な基礎的調査である。より費用対効果が高くなるよう、委託内容や調査方法、調査対象について精査を行い、面積規模別に利用実態の調査などを行う「公園実態調査」に内容を変更した。</p>		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

88 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
都市 基盤 整備 部	【要求事業・要求内容】		
	子育て支援遊び場整備工事（中馬込児童公園、蒲田一丁目公園）	当初要求額 (追加要求)	(18,581)
	【事業概要】		
	中馬込児童公園及び蒲田一丁目公園で、既設広場等の一角を活用して、公園内での保育需要を支援していただけるような0～3歳児を含めた乳幼児の遊び場を試験的に整備する。具体的には、0～3歳児を対象とした玩具や日よけ、外周柵等を設置し、ゴムチップ舗装を施工する。	計画財政部長 査定後要求額	18,581
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	18,581
	1 子育て支援遊び場整備工事 18,581千円 (中馬込児童公園、蒲田一丁目公園)	査定区分	A
		前年度 当初予算額	0
	増減	18,581	
査定の考え方	<p>中馬込児童公園は代替遊技場として重複利用されており、乳幼児の利用が見込まれる。蒲田一丁目公園は保育需要がある地域にあり、小学生などの利用も多い公園であるため0～3歳児などの乳幼児が安全に遊べるエリア整備の必要性が高い。いずれも地域ニーズに合った整備となるため、公園の有効活用が期待できる。</p>		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

51 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
都市 基盤 整備 部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	77,612
	呑川水質浄化対策研究会における水質改善対策 (呑川河床整正工事)		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	77,612
	呑川では、JR蒲田駅～日蓮橋付近の中流域において、春先から夏にかけて硫化水素による悪臭や白濁化、スカム等の発生による景観の悪化が問題となっている。 この様な呑川の水質を改善するため、平成28年度は、下水道対策（合流式下水道改善の実現に向けた計画立案）・河川対策（河床整正の本格的な実施など）総合的な水質浄化対策を推進する。	区長査定 予算(案)	77,612
	【主な要求内容】	査定区分	A
	平成26年度の呑川河床整正工事暫定計画策定委託、平成27年度の河床整正工事詳細設計委託を踏まえ、呑川水質浄化対策研究会の施策に位置付けられる河床整正工事を実施する。 1 呑川河床整正工事 事業場所：西蒲田五丁目13番先から南蒲田一丁目1番先 (JR橋から夫婦橋間)	前年度 当初予算額	20,221
		増減	57,391
査定の考え方	呑川の水質浄化については、下水道対策と共に河川対策の実施が必要である。河床整正工事は「呑川水質浄化対策研究会」における検討結果を踏まえた整備となっており、水質改善の効果が期待できる。		
* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		120 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
都市 基盤 整備 部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	98,990
	自転車走行環境整備工事		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	98,990
	自転車の車道における走行環境を整備することにより自転車利用者の安全・安心な移動を実現するとともに、歩行者や自動車運転者の方にも自転車が走行する場所を認識していただき、交通事故発生の防止に寄与する。 平成27年度のネットワーク実施計画で整備の優先順位の高い路線と認定された路線につき、早急に整備実施するための費用を計上する。	区長査定 予算(案)	98,990
	【主な要求内容】	査定区分	A
	1 図面作成・交通量調査委託費 2 自転車走行環境整備工事 3 自転車走行空間整備後効果測定	前年度 当初予算額	7,989
		増減	91,001
査定の考え方	平成27年6月には道路交通法が改正され、自転車の車道走行を周知・推奨していく必要性が高まっている中、自転車利用が多く自転車の交通事故関与率も高い大田区においては、走行環境整備による効果は大きい。		
* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		90 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
都市 基盤 整備 部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	23,930
	コミュニティサイクル試行実施経費補助		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	23,930
	JR大森駅周辺やJR蒲田駅周辺において、自転車を通計で100台程度配置するために必要な経費の一部を補助する予算を計上する。補助対象経費は、自転車購入費やポート(自転車置場)の整備費など設備費を中心とした初期的経費で、補助により事業者の区内における事業開始を支援する。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	23,930
	1 コミュニティサイクル試行実施経費補助 23,930千円	査定区分	A
		前年度 当初予算額	0
		増減	23,930
査定の考え方	<p>放置自転車の縮減や、交通不便地域の解消など、継続的に取り組んでいる問題に対して、今までとは異なる手法でのアプローチを行うことで、改善に向かうことが期待できる。本格実施の際には事業性があることが望ましいため、“試行”として事業化の可能性を検討することが適切である。</p>		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

117 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
都市 基盤 整備 部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	839,754
	大森ふるさとの浜辺公園休憩施設等の整備		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	839,754
	平成27年度の設計を基に、年代や性別を超えて誰でも水辺のスポーツやレクリエーションに親しめるように、レストハウスの新築工事や日除け施設などの増設工事を行う。また、隣接する都有地に東京都内では初めての常設ビーチバレーコートをはじめ、サッカーやフットサルのできる多目的スポーツ広場などの整備を行う。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	786,482
	大森ふるさとの浜辺公園休憩施設等の整備 1 休憩所新築工事 2 公園施設改修工事(日除け施設等) 3 (仮称)大森東水辺スポーツ広場整備工事 4 (仮称)大森東水辺スポーツ広場電気、給排水設備工事 5 防災船着場整備工事 他	査定区分	C
		前年度 当初予算額	34,701
		増減	751,781
査定の考え方	<p>本公園を含む周辺エリアは「新スポーツ健康ゾーン」として位置付けており、その趣旨に沿うような、スポーツ・レクリエーション拠点として利用しやすさが高まる整備となっているため、区民がスポーツに親しむ機会が増えることが期待できる。施設整備のグレードについては精査を行った。</p>		

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

114 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)		
環境清掃部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	57,743	
	不燃ごみの適正処理及び資源化モデル事業			
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	57,743	
	区民の安全・安心を確保するため、不燃ごみ中の蛍光灯等の水銀含有物及び有用金属の適正な回収・資源化を行う。また、当該モデル事業により得られた事業効果を統計的に分析し、水銀含有物の適正処理及び分別基準と分別品目を確認し、今後の事業の拡大について検討する。			
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	57,743	
	1 不燃ごみ適正処理モデル事業 57,743千円			
	査定の考え方	埋め立てによらない適正な処理に取り組むために新たな経費負担は生じるが、小型家電や金属等の売却収入を得ることができる。 資源化によりごみが減量されれば、清掃一部事務組合分担金の減も見込まれるなど、将来的な財政負担の軽減につながる取り組みである。	査定区分	A
			前年度 当初予算額	0
増減			57,743	

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

123 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)		
環境清掃部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	3,202	
	防鳥ネット(立体型)の貸し出し			
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	3,202	
	現在区民に貸し出している防鳥ネット(平面型)のほかに、立体型を試作・開発し、区民団体等に協力を得て、使い勝手や設置場所の条件設定、運用方法を研究する。その上で、道路管理者等と道路への設置についての調整を行い、試作品を購入し貸し出す。「国際都市おおた」の窓口となる蒲田駅周辺の集積所をモデル地域と設定し貸し出しを行う。			
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	3,202	
	1 防鳥ネット(立体型)試作品設計・制作開発経費 1,134千円 2 折りたたみ式ごみケース 2,068千円			
	査定の考え方	国内外からの来訪者の増加を見据え、美しい街の景観維持のためにごみ集積所をカラス等から守る防鳥ネットは有効である。 従来品に更なる利便性を付加しつつ、区内事業者の技術を活用することで、ものづくりの支援につながる事業である。	査定区分	A
			前年度 当初予算額	0
増減			3,202	

* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ

122 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
教育総務部	【要求事業・要求内容】	当初要求額 (追加要求)	(30,031)
	私立幼稚園長時間預かり保育事業費補助金（大田区版こども園事業）		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	32,571
	利用園児数に応じて支払われる公費と実際の人件費の差額を補助することで、私立幼稚園の長時間預かり保育への参入を促し、共働き世帯等の幼稚園利用機会の拡大と保育園待機児童解消の一助とする。	区長査定 予算(案)	32,571
	【主な要求内容】	査定区分	B
	1 国制度（子ども・子育て支援新制度/一時預かり事業） 7,260千円 2 区制度（1）人件費補助 17,859千円 （2）事業運営費諸雑費 2,112千円 （3）事務費・開設準備費 2,800千円	前年度 当初予算額	0
		増減	32,571
査定の考え方	幼稚園にて保育園並みの長時間保育を実施することで、区の保育需要を一部満たす効果が期待できる。また、教育施設である幼稚園に長時間保育機能を付加することで、幅広い選択が可能になる。 今後は、区制度（独自加算）として実施する各補助項目について、私立幼稚園への補助額全体等をより検証のうえ、適切に見直し等を検討すること。 国制度に係る積算内容（想定利用人数）について、区制度に合わせ、精査した。		
* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ			60 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
教育総務部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	6,061,288
	学校改築について（各改築工事）		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	6,010,892
	区内の小中学校の約8割の学校が、建築後40年以上経過した校舍棟を保有している。このため、良好な教育環境の確保とともに老朽化に対応するため、計画的な施設整備を実施している。平成28年度は2校の改築に着手するほか、設計や工事に着手している6校の整備を進める。	区長査定 予算(案)	5,960,422
	【主な要求内容】	査定区分	C
	1 既着手校（6校） 6,051,188千円 東六郷小学校、志茂小学校、志茂田中学校、大森第四小学校、 入新井第一小学校、大森第七中学校 2 新規着手校（2校） 10,100千円	前年度 当初予算額	1,174,877
		増減	4,785,545
査定の考え方	公共施設全体の最適化・再配置の考え方のもと、良好な教育環境や避難所機能を確保する必須の取り組みである。計画立てた改築及び長寿命化（リファイニング等）改修工事について、早急かつ着実に進めていく必要がある。 事業計画の精査により、汚染土壌処理工事（志茂田中学校）の施工年度変更、及び積算内容の精査等を行った。		
* 平成28年度予算(案)の概要 該当ページ			58 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
教育 総務部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	99,847
	中学校 I C T 設備の拡充		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	99,847
	大田区内小中学校の校内LAN整備状況は、現在23区で最も整備率が低い状況である。 全区立中学校について、I C T 授業の本格実施に向け、LAN環境の整備や設備の充実を進める。	区長査定 予算(案)	99,847
	【主な要求内容】	査定区分	A
	1 LAN環境整備(普通教室、特別教室) 95,937千円 2 I C T 設備の充実 3,910千円 ①可動式電子黒板3セット(1校あたり) ②可動式無線LANアクセスポイント3セット(1校あたり)	前年度 当初予算額	0
		増減	99,847
	査定の考え方	他区に比べ遅れているLAN整備状況の改善、I C T 設備の充実によるI C T 機器の利活用拡大により、生徒の学力の定着と学ぶ意欲の一層の伸長が期待できる。 各校へのI C T 機器等の本格導入に向けて、今回導入分の検証を進め、効果的な導入のあり方検討を進めること。	
*平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		61 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
教育 総務部	【要求事業・要求内容】	当初要求額	17,064
	スクールソーシャルワーカー(S S W)の増員		
	【事業概要】	計画財政部長 査定後要求額	17,157
	S S Wを2名から4名に増員し、緩やかなエリア担当制とすることで、支援体制の充実を図る。また、関係部局(生活福祉課、地域健康課)等と顔の見える関係を築き、より効果的な支援ができる組織体制を構築する。	区長査定 予算(案)	17,236
	【主な要求内容】	査定区分	B
	1 人件費(報酬、共済費) 2 その他経費(旅費、備品購入費等)	前年度 当初予算額	7,972
		増減	9,264
	査定の考え方	S S W配置については、支援が必要な事例の増加や他区の配置状況との比較から、要求内容は適切である。人件費に係る積算内容について精査をした。 S S Wが扱うケースのうち、多くは就学援助または生活保護世帯であるため、重要課題である子どもの貧困対策として、関係各部と連携のうえ、対応を充実する必要がある。	
*平成28年度予算(案)の概要 該当ページ		65 ページ	